

## 1. 略歴

- 1993年4月 東京大学教養学部文科三類入学
- 1995年4月 東京大学文学部思想文化学科インド哲学仏教学専修課程進学
- 1997年3月 同 卒業
- 1997年4月 東京大学大学院人文社会系研究科アジア文化研究専攻インド文学・インド哲学・仏教学専門分野  
修士課程入学
- 2000年3月 同 修士課程修了
- 2000年4月 東京大学大学院人文社会系研究科アジア文化研究専攻インド文学・インド哲学・仏教学専門分野  
博士課程進学
- 2003年11月 プネー大学（インド）サンスクリット高等研究科研究生  
（平成15年度文部科学省アジア諸国等派遣留学生、～2005年9月）
- 2006年9月 東京大学大学院人文社会系研究科アジア文化研究専攻インド文学・インド哲学・仏教学専門分野  
博士課程単位取得退学
- 2006年10月 マルティン・ルター大学ハレ・ヴィッテンベルク（ドイツ） インド学科博士候補
- 2006年10月 マルティン・ルター大学インド学研究所助手（～2007年8月）
- 2007年9月 （財）恵光日本文化センター客員研究員（～2008年8月）
- 2008年9月 ドイツ学術振興会（DFG）常勤研究員（マルティン・ルター大学、～2011年8月）
- 2011年6月 博士号最終試験合格（Dr. Phil, magna cum laude, マルティン・ルター大学ハレ・ヴィッテンベルク）
- 2011年9月 マルティン・ルター大学日本学科 講師（～2012年3月）
- 2012年4月 東京大学大学院人文社会系研究科 助教（～2016年3月）
- 2016年4月 中部大学人文学部 准教授（～2018年3月）
- 2018年4月 東京大学大学院人文社会系研究科 准教授

## 2. 主な研究活動

### a 専門分野

六派哲学を中心としたインド哲学、サンスクリット文献学、写本学

### b 研究課題

主たる研究領域はヴェーダーンタ派の思想で、同派において聖典とされるウパニシャッド文献、『ブラフマ・スートラ』、『バガヴァッド・ギーター』に対する註釈文献などの分析を通じて、現代にまで脈々と受け継がれるヴェーダーンタ思想の展開について研究を進めている。

近年は、古文学書的に文献を扱うというスタンスで、写本の収集、テキスト校訂、訳註研究という基礎的な研究を続けている。現在取り組んでいるプロジェクト「バースカラ」はヴェーダーンタ派の聖典『ブラフマ・スートラ』、『バガヴァッド・ギーター』に対するバースカラ註の校訂テキストを作成し、それにもとづいて訳註研究を行うというものである。

以上のような写本研究や校訂訳註研究など基礎的な研究を地道に続けながら、同時に、社会の動向に注意し、現実の様々な問題解決に向けてインド哲学からどのような貢献ができるのかを常に意識した思想研究を目指している。

### c 概要と自己評価

引き続き、中心課題である「バースカラ」研究に従事している。『ブラフマ・スートラ註解』については、すでに公開済みの第1章と第2章に加え、後半部分の第3章・第4章についてもほぼ完成しており、新たに発見された写本の異読情報をアップデートし、近年中の刊行を目指している。『バガヴァッド・ギーター註解』のテキスト作成についても少しずつ進めており、写本との照合が終わり次第順次公開をしていきたい。

科研プロジェクトでは、「井筒俊彦の思想形成期における東洋思想とその学問的視座」、「インド哲学における無の思想」に分担研究者として参加し、思想研究に積極的に取り組んだ。

また、研究代表者を務める科研プロジェクト「デーヴァナーガリー文字 OCR の開発とサンスクリット文献データベースの構築」では、多くのインド諸語表記に用いられる文字であるデーヴァナーガリー文字を読み取るための光学文字認識（OCR）ソフトウェアを開発するために、くずし字 AI-OCR 開発などを手がける凸版印刷株式会社との間で共同研究を行った。

今後も文献学を研究の基本としながら、現代における様々な課題にも積極的に取り組んでいきたい。

#### d 主要業績

##### (1) 監修

斎藤明／丸井浩／下田正弘／蓑輪頭量／梶原三恵子／高橋晃一／加藤隆宏、『仏典解題辞典』、春秋社、2020.12

##### (2) 論文

Takahiro Kato, 「The Concept of Responsibility in Indian Tradition.」、『Journal of International Philosophy』、10、37-44 頁、2021.3  
[共] 加藤隆宏・友成有紀・谷口力光・大澤留次郎・藤巻聡・岡田崇・橋本江美、「デーヴァナーガリー文字 OCR の開発」、『研究報告人文科学とコンピュータ』127/1、1-4 頁、2021

加藤隆宏、「井筒俊彦とウパニシャッド」、『理想』、706 号、17-30 頁、2021.9

##### (3) 学会発表

国内、加藤隆宏、「因果応報と業・輪廻説」、第 10 回 RSIS 研究会「人と機械の協働を考える」、オンライン会議、2020.8.2

国内、加藤隆宏、「井筒俊彦とウパニシャッド」、「井筒俊彦の思想形成期における東洋思想とその学問的視座」研究会、オンライン会議、2021.7.3

国内、加藤隆宏、「デーヴァナーガリー文字 OCR の開発」、第 127 回人文科学とコンピュータ研究会発表会、オンライン会議、2021.8.28

国際、Takahiro Kato, 「Again on anvayavyatireka in Early Advaita Vedānta」、Philosophy and the Method: Phenomenology and Indian Philosophy、Online Conference hosted by Assam University (India)、2021.12.7

国内、加藤隆宏「ヴェーダーンタ派の「無」をめぐる諸議論」、「無の探求」科研 2021 年度第 3 回全体研究会、ハイブリッド会議（松江）、2022.3.11

##### (4) 会議主催（チェア他）

国内、「インド思想研究の最前線」、チェア、オンライン開催（早稲田大学高等研究所）、2020.9.12

### 3. 主な社会活動

#### (1) 他機関での講義等

非常勤講師、学習院大学、「思想史講義—インド思想史」「思想史演習—サンスクリット語入門」

短期講座、東京大学仏教青年会「仏典とインドの古典を読む会『アートマボーダ』」、2020.8～2020.9、「仏典とインドの古典を読む会『ヴァーキヤ・ヴリッティ』」、2020.11～2021.3

#### (2) 学外組織（学協会、省庁を除く）委員・役員

東京大学仏教青年会、理事、2020.5～